

JAERA

NEWS LETTER

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 ニュースレター

- 巻頭言 / 2021 年度 定時社員総会の結果…P1
 自動車リサイクル士更新講習会のご案内… P2
 リサイクル設計事例集はご覧になりましたか? … P3
 リモート会議システムの活用方法のご紹介 (続編) … P4
 PMMA (アクリル樹脂) の水平リサイクル実証実験について / 海上コンテナの不足と費用の高騰につきまして / 2021 年度貴金属類の共同出荷事業のご案内 … P5
 リチウムイオンバッテリー回収システムのご案内… P6
 2021 年度 駆動用 HV バッテリー・セレナ C26 ジェネレーター共同出荷事業 / 5 月新車販売・使用済自動車発生台数 … P7
 鉄スクラップ最新情報… P8
 行事予定・お知らせ / 編集後記… P9

vol. 148

2021 年度定時社員総会の結果

01

一 会員の皆様へ

定時社員総会の議案が可決されました。

日本自動車リサイクル機構 2021 年度定時社員総会は、皆様にお知らせのとおり、新型コロナウイルスの感染拡大防止と会員の皆さまの健康と安全を守るため、昨年度同様、書面議決にて執り行うこととなりました。また、議決における賛否についても、各支部長にご意見を集約いただく昨年と同じ形となっております。

結果、「定時社員総会の議案」については、全支部一致で“賛成”の意をいただき、会員の皆様の承認が得られましたことをご報告いたします。

皆様には日頃より機構の事業に対してご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。100 年に 1 度と言われる自動車に関わる業界の大きな変化とコロナ禍という大きな変化のなかで、今年度も当機構は“自動車リサイクルに関係する情報収集、普及・伝達”や“行政及び関連諸団体に対し、提言・要望のための窓口となる等”の与えられた役割を果たしつつ、解体業に関わる皆様と一緒に前に進んで行けるよう取り組んで参ります。会員の皆様方のなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

巻頭言

今や社会貢献活動ができない企業は、優良企業とは呼ばれない時代となりました。奉仕活動やボランティア活動など形は様々です。子供や青少年育成に関するもの、交通安全に関するもの、地球環境に係わるものなど数えたら限りないほどやれることはあります。そして、多くの方々が、企業、団体が社会貢献活動を色々な形で行っています。

先日、自分一人だけで商売をやっている方から、「あなたはしっかり社会貢献しているね。」と言われて「えっ」となりました。その方曰く、「社員の生活を守ってやることは、大切な社会貢献活動。」なんだそうです。

〈広報部会 田村 幸男〉

《編集・発行責任者》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
広報部会長 永田 則男

《お問い合わせ先》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
〒105-0004
東京都港区新橋3丁目2番2号
TEL: 03-3519-5181
FAX: 03-3597-5171
MAIL: jaera-homepage@elv.or.jp
HP: <http://www.elv.or.jp/>

自動車リサイクル士更新講習会のご案内

02

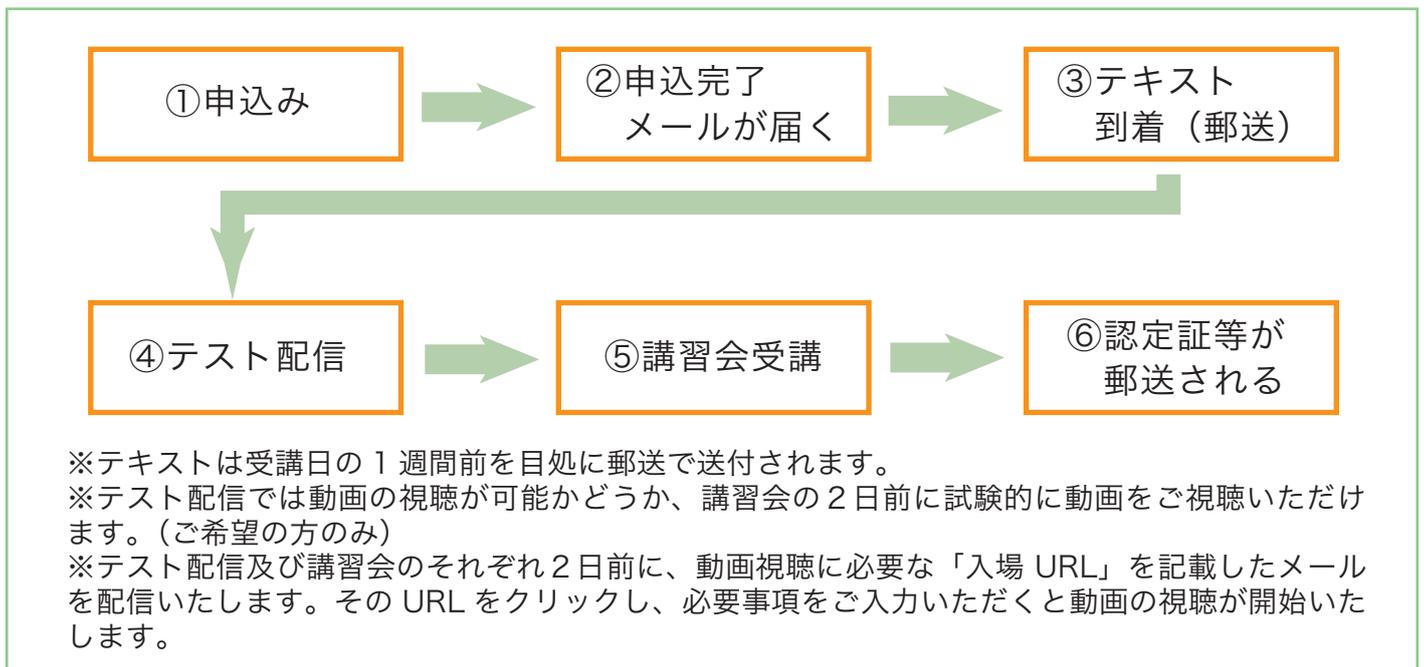
2021 年度の自動車リサイクル士更新講習会の日程が決定しました！

更新対象者の方には既に案内文書を郵送させていただいており、現在お申込みを受け付けております。開催概要は以下のとおりです。

対象者	・ 2021 年 10 月、11 月に資格の有効期限を迎える方 ・ 2021 年 3 月が資格有効期限の方で、昨年度の更新講習会を受講されていない方	
受講方法	サテライト方式（生配信される講習動画を PC やタブレット機器で視聴する）	
開催日程	・ 第 1 回目 2021 年 9 月 3 日（金） 10：00～16：00 ・ 第 2 回目 2021 年 10 月 15 日（金） 10：00～16：00 ・ 第 3 回目 2022 年 2 月 4 日（金） 10：00～16：00 ※ 3 回のうち、どれか 1 回の受講となります。	
申込締切 （消印有効）	・ 第 1 回目：2021 年 7 月 15 日（木） ・ 第 2 回目：2021 年 8 月 31 日（火） ・ 第 3 回目：2021 年 12 月 15 日（水）	
受講料	機構会員：16,500 円	非会員：23,000 円

昨年度同様、WEB を活用したサテライト方式で講習会を実施することとなりました。皆様がお持ちのパソコンや iPad などのタブレット機器があれば簡単に受講することが出来ます。

更新完了までの大まかな流れは以下のとおりです。



■受講案内書は更新対象者の方のみご郵送しております。機構 HP にもアップしておりますのでご確認ください。 → <https://www.elv.or.jp/35-87-0.html>（2021 年度講習会関連情報）

■昨年ご受講いただいた方の感想はこちら

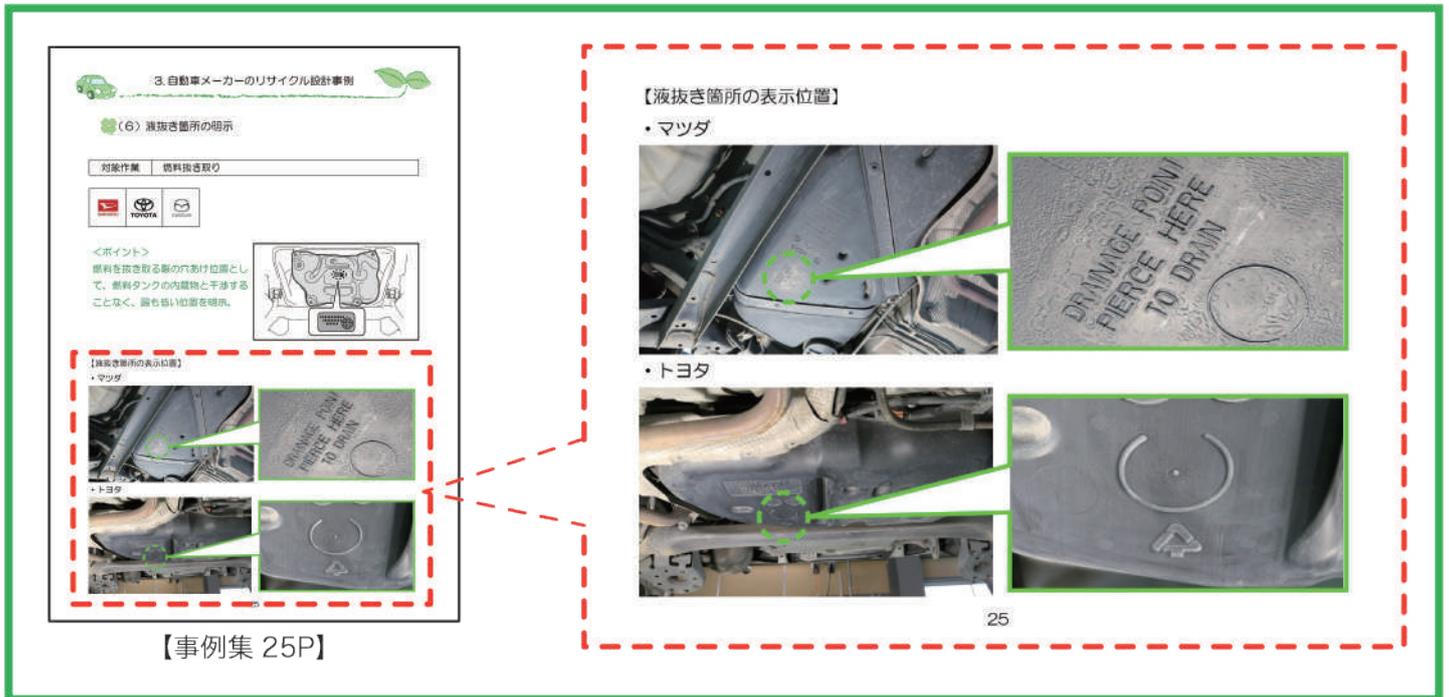
→ http://www.elv.or.jp/media/Rakude/20210129095912-Vol.143_20210129.pdf（1 頁目）

■受講に関してお問い合わせ等ございましたら、お気軽に機構事務局までご連絡下さい。

TEL：03-3519-5181
メール：jaera-homepage@elv.or.jp
担当：京野

先日、会員の皆様にご郵送させていただいた“リサイクル設計事例集”はご覧になりましたか？

本書は、公益財団法人自動車リサイクル高度化財団の助成事業の一環として製作したもので、自動車メーカーがリサイクルしやすいように取り組んでいる「リサイクル設計」の普及等を目的として、自動車メーカーに対するリサイクル設計の事例調査、整理をし、解体業者の皆様へのリサイクル設計の認知度及び有効性に関するアンケート調査、また、リサイクル設計に関する意見や要望について各ブロックより選任された会員企業の皆様へヒアリング調査を実施させていただき、これらを踏まえた上で作成したものです。今回はその一部をご紹介します。



例えば、燃料を抜き取る際、燃料タンクの内蔵物と干渉することなく、最も低い位置には上記のようなマークとして明示されております。(メーカーによってマークの有無や形は異なります。) これによって、綺麗に燃料を抜き切ることが出来ます。

他には、解体業者の皆様からご紹介いただいたリサイクルのための工夫や取組みについて“解体業者の好事例”として掲載しております。

例えば、右図のように低年式車の燃料ポンプの取外しの際に安全性と効率向上を目指して考案された独自の治具についての情報や、他にも、燃料抜き取り時の車両落下防対策のバーの設置、HV バッテリー取外し手順パネルの作成等数多く掲載しております。

また、自動車メーカーからも小型モーターの銅線コイルを効率的に回収するための、取外し治具の情報提供等も掲載されております。

機構の HP からダウンロードすることが出来ますので、是非一度ご覧ください。



【事例集 43P から抜粋】

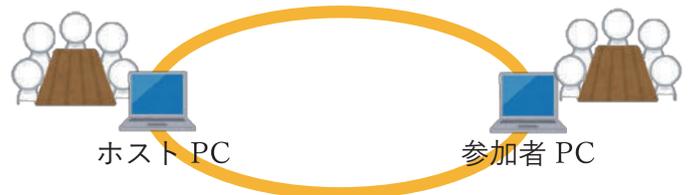
■事例集のダウンロードはこちら→ <http://www.elv.or.jp/36-90-0.html>

前号では、ホスト（開催者）として、リモート会議を開催する方法を解説いたしました。実際に会議で活用する場合、多くの企業では“1つのPCに複数の人が同席する”形態で開催することが多いと思います。今回はそんな時があると便利な機材をご紹介します。

①ホストと参加者が直接会議をする場合（1台のPCに1人）



②ホストや参加者のPCに複数の方が同席して会議をする場合（1台のPCに複数人）



上記は会議形態の主なパターンです。基本的には1のように1台のPCに1人が参加する形ですが、最近では2のように、PCの横に他の方が同席して行なうケースも珍しくなくなりました。しかし、2で行なう場合に、解決すべき問題がいくつかございます。

- 1台のPCで行うため、PCから遠い人の声が小さくなる又は聞こえない。
- 参加者それぞれの顔を映すことが出来ず、発言者が誰か分かりにくい。

そこで最近注目されているのが「**360度カメラマイク**」です。

通常、カメラとマイクは参加者Aに向いていますが、参加者Bが発言を始めると、その音声を察知して、カメラとマイクが自動的に参加者Bに向けられます。最近ではカメラマイクの音質も向上してきており、更に聞き取りやすくなってきています。

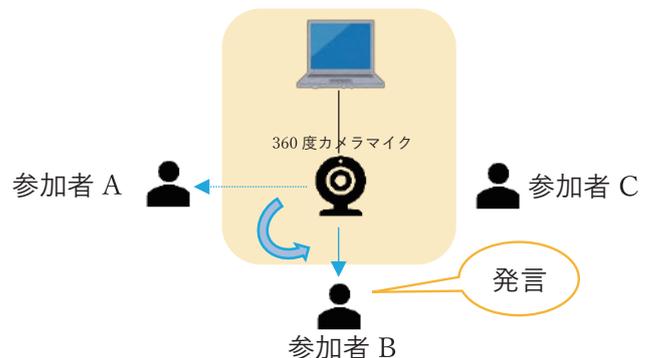
問題点としては、良いものは10万円を超えること、サイズが大きく、重量もそこそこあることなどが挙げられます。しかし、会議参加者全員がZoomにつないでしまうと、回線がパンクするリスクもあり、上記の問題点があったとしても「360度カメラマイク」の活用がこれから広がっていくのではないのでしょうか？

・商品参照URL：<https://meetingowl.jp/>

カメラは付いていませんが、YAMAHA製の『マイク & スピーカー』も、他の支部やブロックで多く使われており、大変使いやすいとの情報もいただいております。このマイク & スピーカーは、雑音が多い環境下でも、発言の声をしっかり拾い、かつ、ハウリングが発生せずに、高音質な音を届けてくれるようです。

・商品参照URL：
<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc>

例えば、現地会場の席を以下のような配置にします。



【360度マイクを使っている様子】

■機構の活動でZoomを使ってみたい方

各ブロック等の活動につきましては、事務局が持っているアカウントでサポートさせていただくことも可能です。「試しにリモート会議を開催してみたい！」などございましたら、是非、機構事務局までご連絡ください。

PMMA（アクリル樹脂）の水平リサイクル 実証実験について

05

アクリル樹脂の水平リサイクル実証実験の開始

Honda は、三菱ケミカル株式会社、北海道自動車処理協同組合と共同で、使用済自動車（以下、ELV）から回収した PMMA（アクリル樹脂）水平リサイクルの実証実験を 2021 年 8 月に開始することとなりました。

これまでアクリル樹脂の処理にあたっては、分別回収やリサイクルの技術的難度の高さから、焼却の際に発生する熱エネルギーを回収・利用するにとどまっていた。

今回、取組む水平リサイクルは、使用済みの製品から回収した材料を高度なリサイクル技術でバージン材と同等の性能・品質のリサイクル材に転換し、同一種類の製品を製造するものです。

この水平リサイクルのシステムが確立すれば、一例として ELV から回収したテールライトから再度テールライトを製造することが可能になります。加えて、アクリル樹脂製造・廃棄時の CO2 排出量削減にも寄与します。この実証を通じ、異物が混入しない回収手法、バージン材同等の品質達成技術、ELV から回収される樹脂粉砕品の高効率輸送スキームなどを確立させた上で事業性検証を行い、水平リサイクルスキームの構築を目指します。



海上コンテナの不足と費用の高騰につままして

06

世界的なコンテナ不足により、海上輸送網の混乱が発生し、海上輸送費が高騰しており、船便の予約も不安定な状況にあるなどの報道があるなか、ある会員の方から、**輸出のためのコンテナが不足しており確保することが出来ず、また、運賃が以前の 2 倍、3 倍となっており困っている**との声がございました。海上コンテナ不足が解体業界の皆様と与える影響はとて大きく、同様の情報を他の会員からもいただいております。

そのため、当機構としては、行政に対し、1「解体業者の中には海上コンテナを利用して中古部品等を輸出している現状」、をお伝えし、2「海上コンテナ不足や運賃の高騰について、行政としての今後の見通しや方策の情報提供」をいただくよう依頼したところです。今後何か動きがございましたら逐一ご報告させていただきます。

2021 年度貴金属類の共同出荷事業のご案内

07

今年度の貴金属類の共同出荷事業の実施が決定しました。対象部品は昨年同様、(1) コンピューター基板 (2) エアバッグカプラー (3) センサー類 (O2 センサー、A/F センサー) の 3 品目となります。

■詳細はこちらのリンク先をご参照ください

→ <http://elv.or.jp/index.php?itemid=1759>

※本事業は JAERA 会員を対象とした事業です。会員でない方はご参加できませんので、ご了承ください。



【O2 センサー】

処理にお困りの「リチウムイオンバッテリー」を**無料**でお引き取り致します。

2018年10月より、一般社団法人自動車再資源化協力機構（自再協）を窓口とした、リチウムイオンバッテリーの「**無料引取り**」を行っています。

(※初回利用時は事業者登録が必要になります。)

事業者登録は自再協 HP から出来ます。

→ <http://www.jarp.org/duties/lib/>



ポイント

- LiB の回収は**無料**です！
- システムの登録、回収依頼は**簡単**です！
- **電池1個から**回収依頼できます！
- **事故車、水没車、車台番号不明**（不良在庫）等の場合でも回収依頼できます！



※ 登録・依頼手順等の詳細は自再協 HP よりご確認ください。

【自再協からのお願い】

自再協では、今後の効率的な LiB 処理を行ううえでの運用改善を目的として、ヒアリング活動を予定しております。なにとぞ、ご協力をお願いいたします。

自動車再資源化協力機構（自再協）

TEL: 03-5405-6158 / E-mail: info@jarp.org



2021 年度駆動用HVバッテリー・セレナ C26 ジェネレーター共同出荷事業 5 月出荷状況と下期累計

09

【2021 年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業 5 月出荷状況と上期累計】

上段:5 月出荷数 下段:上期累計【単位:個】

参加会社数 (社)	プリウス 20	プリウス 30	プリウスα	レクサス CT200H	アクア /ヴィッツ	カローラアクシオ /フィールダー	レクサス GS450H	クラウン HV GWS204
24	35	79	0	0	36	0	0	0
36	62	156	2	0	97	1	0	0
クラウン HV AWS210	SAI/レクサス HS250H	カムリ HV	日産デュトロ /ブルーリボン	ノア/ヴィクシー /エスファイア	シエンタ HV	プリウス 50	不良品 A-C	合計
2	1	0	0	0	0	0	5	158
2	2	3	0	0	0	1	7	333

□2020 年度の結果・2021 年度事業説明資料はこちら→ <http://elv.or.jp/index.php?itemid=1740>

【2021 年度 セレナ C26 ジェネレーター共同出荷事業 5 月出荷状況と上期累計】

上段:5 月出荷数 下段:上期累計【単位:個】

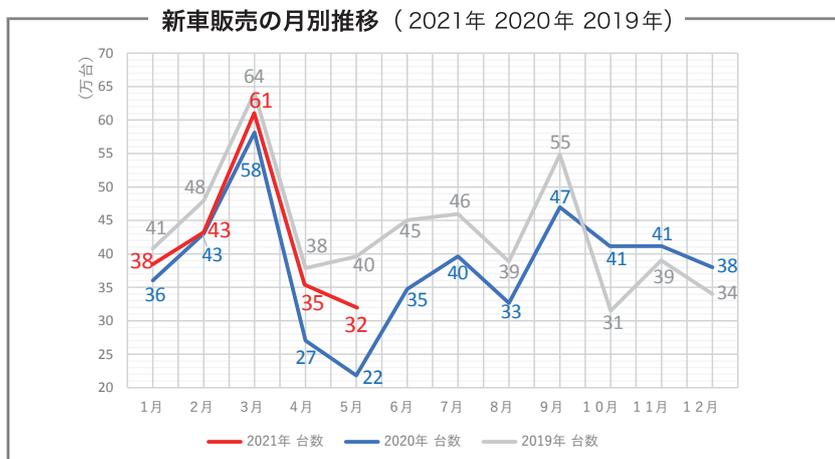
参加会社数 (社)	北海道 ブロック	東北 ブロック	関東 ブロック	中部・北陸 ブロック	近畿 ブロック	中国・四国 ブロック	九州 ブロック	沖縄 ブロック	合計
7	531	102	2	0	1	1	0	0	637
12	543	136	3	0	1	1	6	0	690

□2021 年度事業説明資料はこちら→ <http://elv.or.jp/index.php?itemid=1742>

5 月新車販売・使用済自動車発生台数

10

■2021 年 5 月度 新車販売台数 319,318 台 前年同月比 146.3%

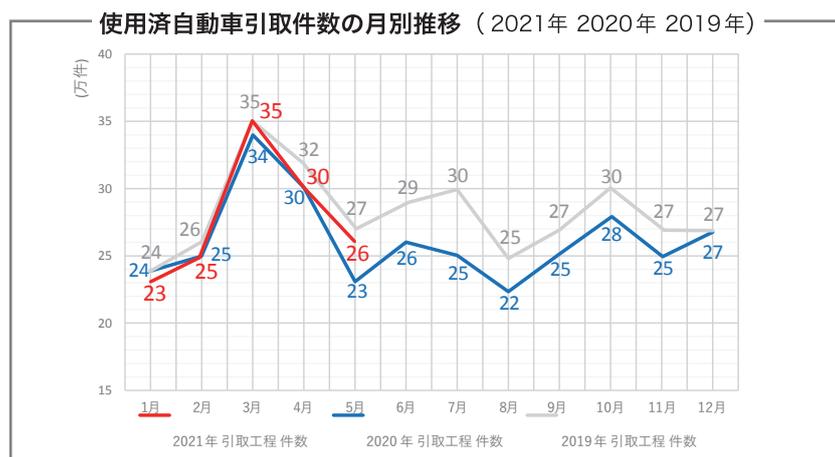


過去の/new車販売台数推移

年累計	台数	前年比(%)
2021年 (5月まで)	2,098,955	112.8
2020年	4,598,615	88.5
2019年	5,195,216	98.5
2018年	5,272,067	100.7
2017年	5,234,165	105.3

※出所:一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

■2021 年 5 月度 使用済自動車引取 (電子マニフェスト) 実施状況



引取件数
259,386 件 (前年同月比 111.9%)
フロン回収工程
233,451 件 (前年同月比 111.5%)
解体工程
271,665 件 (前年同月比 110.7%)

※出所:公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

6月第3週（17日）の鉄スクラップ動向



6月17日の国内スクラップ炉前実勢価格（中心値）

		H2	気配
関東	北関東	48,000～49,500	様子見
	南関東	48,000～49,500	様子見
	浜値	48,000～49,500	様子見
名古屋		50,500～51,500	様子見
関西	大阪	50,000～50,500	様子見
	姫路	49,500～50,500	様子見

欧米の鉄スクラップ市場は堅調感続く

欧米の鉄スクラップ市場は、トルコの輸入市場や米国国内など、総じて堅調感が続いている。トルコミルは先週の前半に新規成約が続きバルト海玉の新規成約で HMS1&2(80:20) が CFR500 ドル前後を付けた後は目立った動きは聞かれないが、気配値として米国玉の HMS1&2(80:20) は CFR505 ドル前後を付けている。直近のピークだった 5 月下旬入りの CFR510 ドル超からはやや値を下げており、鉄筋価格が伸び悩んでいるという弱気材料はあるが、足元は価格を維持している。

米国市場では、「夏季ながら下げは考えにくく、横ばいから 20~30 ドルの上昇が見込める」といった声が聞かれる。

日本国内市場は 4 週間にわたり概ね様子見横ばい

国内市場の鉄スクラップ市況は 5 月下旬の需要家筋の値上げ改定以降、4 週間にわたって様子見横ばいの推移だ。この間に値上げや値下げの動きが見られたが、いずれも小幅で調整的な値動きにとどまっている。東日本市場の H2 相場は高値解消が進んだものの 4 万円台後半を維持。東海以西は 5 万円台で推移している。

【関東地区】 H2 電炉買値・浜値が同水準、様子見横ばい

関東市場の鉄スクラップ市況は様子見横ばいの推移だ。H2 電炉買値と浜値が同水準に並び、H2 相場は 4 万円台後半~5 万円弱での推移を続けている。鉄スクラップ入荷が低調なため湾岸商社・シッパー筋が安値修正を進めたことから、浜値はジリ高の推移を続けてきた。6月17日時点の H2 炉前実勢価格は 48,000~49,500 円中心。H2 浜値は 48,000~49,000 円中心で、高値は 49,500 円見当となっている。

【東海地区】 市況は膠着気味、スクラップ消費は高い状態

東海地区の鉄スクラップ市況は膠着状態が続いており、6 月中旬を迎えてもメーカー筋の購入価格に変化は見られない。電炉メーカーの生産が堅調なため地区消費は総じて高い状態。前月後半にかけての輸出価格の軟化から、湾岸筋では一部品種に高値調整の動きも見られたが、発生環境の改善が進まないこともあり、メーカーの入荷は消費際程度に留まるところも多い。6月17日時点の H2 炉前実勢価格は 50,500~51,500 円中心。

【関西地区】 メーカー入荷に殺到感なく様子見推移

大阪地区は依然として様子見状態が続いている。高値筋ではヘビー類の荷止め対応を継続しており、品種によって需要は減退へ向かいつつも、電炉入荷に引き続きバラ付きが生じ、殺到感には一切至ってこないまま月後半を迎えた。輸出商談の停滞に合わせて湾岸筋によるヘビー類の引き合いは鈍く、電炉買値が優位な状況にある。6月17日時点の H2 炉前実勢価格は、大阪地区が 50,000~50,500 円中心。姫路地区が 49,500~50,500 円中心。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、6月17日午前時点のもの)

行事予定

— 6月の主な行事予定 —

■7月2日(金)

- ・第1回 東北ブロック会議

■7月6日(火)

- ・第4回 広報部会

■7月8日(木)

- ・第1回 近畿ブロック会議

■7月13日(火)

- ・J-FAR(事例集) 定例会

■7月14日(水)

- ・第1回 中部・北陸ブロック会議

■7月17日(土)

- ・第1回 九州ブロック会議

※急遽、日程の変更・延期の場合がございます。

July

お知らせ

自動車再資源化協力機構より～車上作動処理業務に関する事業主の皆様へのお願い

今年度もエアバッグ類不適正処理の撲滅、安全対策実施状況等の確認を行うべく、自動車再資源化協力機構（以下、自再協）および自再協が委託した監査人（株式会社 矢野経済研究所、株式会社 日産クリエイティブサービス）による無通知※1, 2での現地監査を実施いたします。

一部の方におかれましては、国機関による立入検査も実施されますので監査・検査の受け入れ、円滑な進行にご協力下さい。

※1:今年度についても、新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、訪問月について事前に通知を実施させていただきます。

※2:例外として通知の上、監査を実施する場合があります。

本件の詳細については、以下のリンク先をご参照ください。

→ <http://www.jarp.org/news/2021/airbag210525.html> (自再協 HP)

編集後記

数年前には鉄をはじめとする各素材が大幅に下落し業界は青息吐息でしたが、1年程前からにわかに市況が回復し、打って変わっていまや素材バブルともいえる状況にあります。コロナ災禍によって日本経済全体が冷え込んでいる中、信じがたい現象です。なににせよ渡りに船といった方も多くおられるのではないのでしょうか。

しかしながら、素材の価格が上がったら上がったで新たな問題も出てきました。特にレアメタルを含む触媒は異常とも言える買取り価格になっています。高価なものになるとそれひとつで安い中古車1台購入できるほどです。そのあおりを受け、使用済自動車の価格も有り得ないくらいに上昇しています。使用済自動車の発生減少も手伝い、リサイクル業者はかつてないほどの激しい価格競争に苛まれています。また不正行為も後を絶ちません。使用済自動車から触媒が取り外されていたり、中身の抜き取られている触媒が取り付けられていたり、やっと仕入れてきた使用済自動車も細部まで確認しないと安心できないという、きっと我々は何時になっても安堵することはないのでしょうか。

(広報部会長 永田 則男)